

■ 豊島区の現状と課題

【SWOT分析】

資料 3

	プラス要因	マイナス要因
内部要因	強み (Strength) ①鉄道4社、9路線が鉄道乗り入れている ②池袋駅の1日の利用者数は179.5万人（2020年） ③路線バス、高速バスの起点である ④宿泊施設は314施設（23区中3位）（2022年） ⑤ホテル客室数12,942室（23区中6位）（2022年） ⑥住宅宿泊事業（民泊）施設数691施設（23区中2位）（2023年） ⑦Hareza池袋、東京芸術劇場など劇場が集積している ⑧池袋駅周辺に特色ある4つの公園がある ⑨池袋駅を中心として商業施設が充実している ⑩ナイトライフが楽しめる（Tokyo Music Evening Yube） ⑪巣鴨、駒込、雑司が谷、目白など魅力ある観光資源がある ⑫多彩なイベントが開催されている ⑬マンガ・アニメをはじめとしたサブカルチャーの拠点となっている ⑭国際色豊かな“食”が楽しめる ⑮東アジア文化都市のレガシーによる交流や記念事業 ⑯多くの自治体との交流がある	弱み (Weakness) ①利便性があるが、滞在に繋がっていない ②宿泊施設数は23区中3位だが、宿泊率は7位と低くなっている ③来街者の滞在日数は、59.1%が1日、18.1%が2日と長期滞在が課題（2023年） ④富裕層向けの宿泊施設がない ⑤豊富な観光資源の認知度が低い→情報発信が弱い ⑥消費額を拡大させるための検討がされていない ⑦地域資源を巡る回遊ルートが確立されていない ⑧池袋駅周辺の回遊性が低い（バリアフリー） ⑨体験プログラムが少ない ⑩区民を巻き込んだ観光の仕組みが不十分 ⑪高付加価値化についての検討がされていない ⑫池袋と比較して豊島区の認知度が低い ⑬池袋のマイナスなイメージが残る
	外部要因	機会 (Opportunity) ①新型コロナウイルスによる観光の形態の変化 マイクロツーリズム/サステナブルツーリズム /趣味やライフワークを実現する旅 ②「ワーケーション」などの新たな観光スタイルの登場 ③インバウンド市場の回復 ④外国人旅行者の日本への関心の高さ ⑤団体旅行から個人旅行へ ⑥観光へのニーズの多様化 ⑦観光DXの推進 ⑧観光分野のSDGSの促進 ⑨2025年大阪・関西万博の開催

【SWOTクロス分析】

	強み	弱み
機会	強みを活かして機会を最大限に利用するための方向性 ・多彩なとしまの魅力の更なる磨き上げと観光への活用 （強み）⑧、⑨、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯×（機会）①、③、④ ・国際文化都市としての魅力強化 （強み）⑦、⑩、⑬×（機会）①、⑤、⑥	弱みを補うことで機会をつかむための方向性 ・国際文化都市のイメージの確立と情報発信の強化 （弱み）⑤、⑫、⑬×（機会）③、④、⑤ ・産業と観光との融合による観光産業の活性化 （弱み）⑥、⑪×（機会）③、④
	脅威	強みを活かして脅威を乗り切るための方向性 ・としまの魅力を活かして市場変化にあった観光形態を検討 （強み）⑧×⑨、⑪、⑫×（脅威）①、② ・オールとしまで観光に取り組み仕組みを検討（住民・事業者と連携）

(強み) ⑨、⑪× (脅威) ③、④、⑥

(弱み) ①、⑥、⑪× (脅威) ②、③、④